

ショートコメント vol.349 (2025年1月17日)

テーマ：街角景気にみる万博への期待感の広がり
～限定的ながらここ数か月でやや拡大の動き～

●街角景気の直近の状況

街角景気として知られる、内閣府「景気ウォッチャー調査」の12月調査結果が公表された。

現状判断については、訪日客の増加やクリスマス・年末商戦の好調に加え、気温要因もあって3か月連続の上昇となっている。今冬は徐々に冬の寒い寒さとなったことで冬物商材の販売が増え、食料品や衣料品、家電など、幅広い分野で好調な動きとなった。

ただし、先行きはクリスマス・年末年始の出費増の反動等で、1月中旬以降は消費の鈍化懸念が強い。結果として、3～4月を中心とした先行き判断は若干の低下となっている。

実質賃金の前年割れが続く中、足元は消費者の節約志向が根強い。今後も物価の上昇傾向には変化がないことから、消費の基調についても慎重な見方が少なくない。

●先行き判断と万博の開催

一方、大阪・関西万博の開催が4月に迫っていることで、先行き判断における万博の影響にも注目したい。

同調査では、景気判断に付随する形で、その判断の根拠となる定性コメントも聴取している。そこで、先行き判断にかかる定性コメントのうち、万博への言及の推移をみたところ、12月調査は16件と、前月の8件から倍増する形となった(図表2)。

まだコメント数自体は限定的ながら、11月から12月にかけての変化をみる限り、企業の間で関心が高まりつつあることは間違いない。

●万博コメントの地域分布

一方、万博に言及したウォッチャーの地域分布をみると、前月までは関西がほぼ全体を占めていたが、12月は関西以外からのコメントも増えている。

図表2における「その他」の地域では、北海道、東北、東海、北陸、中国、四国から1件ずつのコメントとなっている。まだ何らかの地域特性が見出せる状況ではないが、関西以外での関心の状況は今後の大きな注目点といえよう。

その一方、12月調査で万博に言及のあった業種に注目すると、観光関連(ホテル、旅行代理店、タクシー等)が目立つ一方、関西では雇用関連(人材派遣、民間職業紹介機関等)からのコメントも少なくない(図表3)。これは万博関連の雇用が増

【図表1】 (関西)景気ウォッチャー調査の現状・先行き判断 (50=景気横ばい)

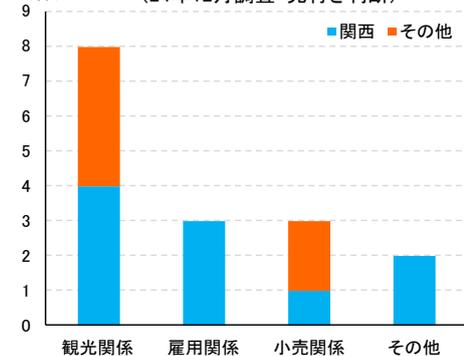


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」、以下同じ

【図表2】 (全国)万博関連のコメント件数 (先行き判断)



【図表3】 (全国)万博関連の業種別コメント件数 (24年12月調査・先行き判断)



※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

えることへの期待が中心であり、特に警備関係などの求人増加に期待する声が上がっている。

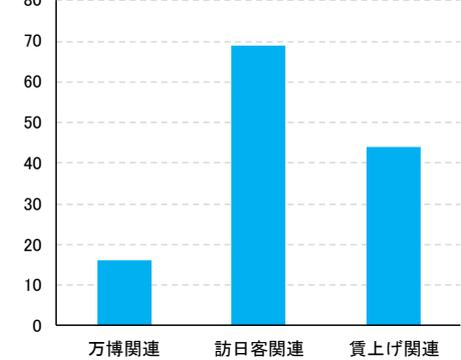
●先行きのプラス材料

なお、景気の先行き全体における万博の位置づけについては、まだ限定的といわざるを得ない。今のところ、訪日客の増加や来春の賃上げの方が、先行きの大きなプラス材料となっている。

図表 4 は、12 月調査の先行き判断の定性コメントにおける、「訪日客」、「賃上げ」、「万博」のそれぞれへの言及数であるが、その差は非常に大きい。

ただ、11 月調査から 12 月調査にかけての増加が示すように、万博の開催が近付くにつれて期待感も高まるものとみられる。関西での高まりはもちろん、地域的、業種的な広がりがあることがどこまで出てくるかが注目される。

【図表 4】 (全国) 主なキーワード別コメント件数
(24年12月調査・先行き判断)



本件照会先: 大阪本社 荒木秀之
TEL: 06-7668-8805 mail: hd-araki@mri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。